

## いま起きている公共施設の状況 (おさらい)



1

## いま起きている公共施設の状況 (おさらい)

✓ 施設が古くなってきている



✓ 人口減少・少子高齢化が  
進んでいる

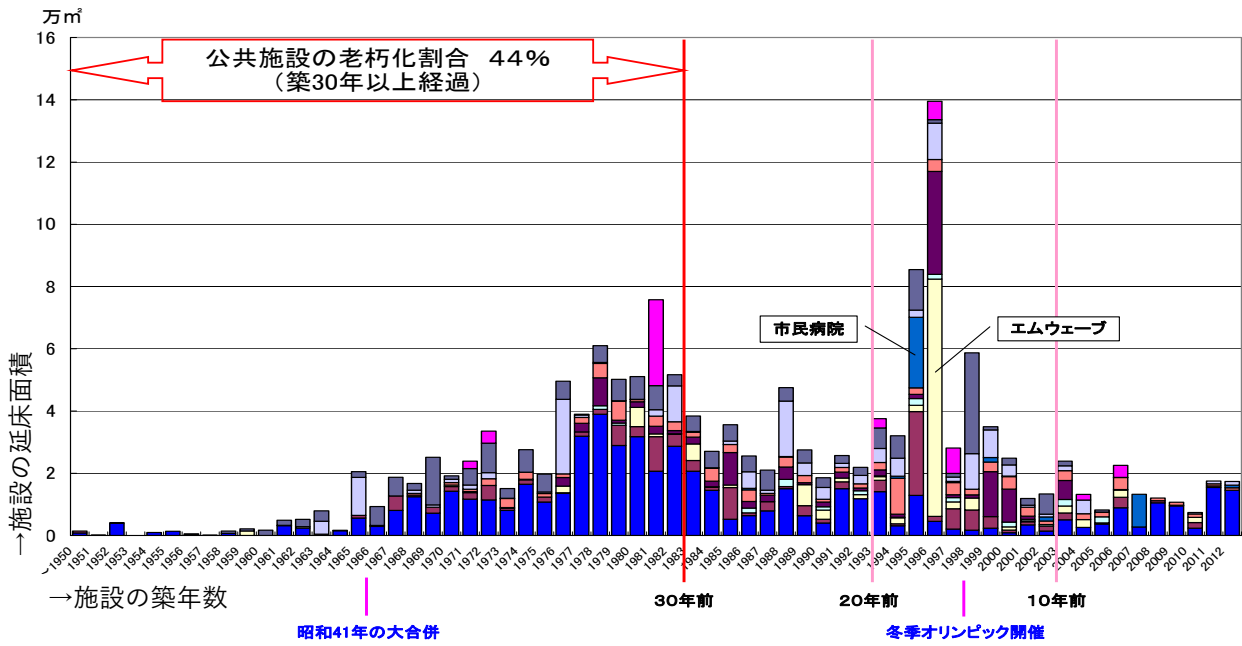


✓ 人口減少なのに、  
施設が多いまま



2

# ✓ 施設が古くなってきている

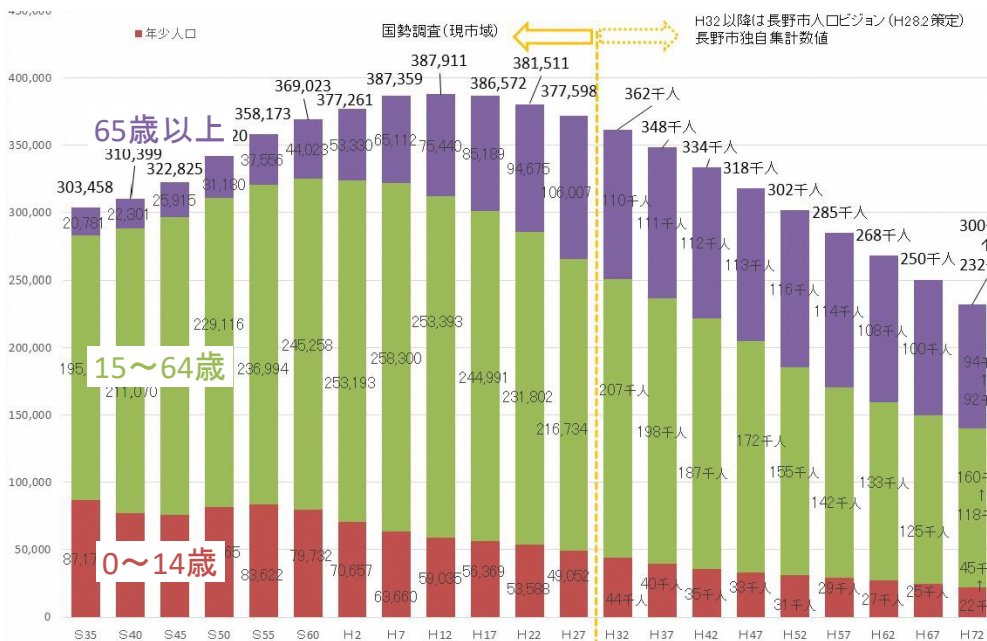


高度経済成長時代に整備した建物が  
一斉に改修更新を迎える

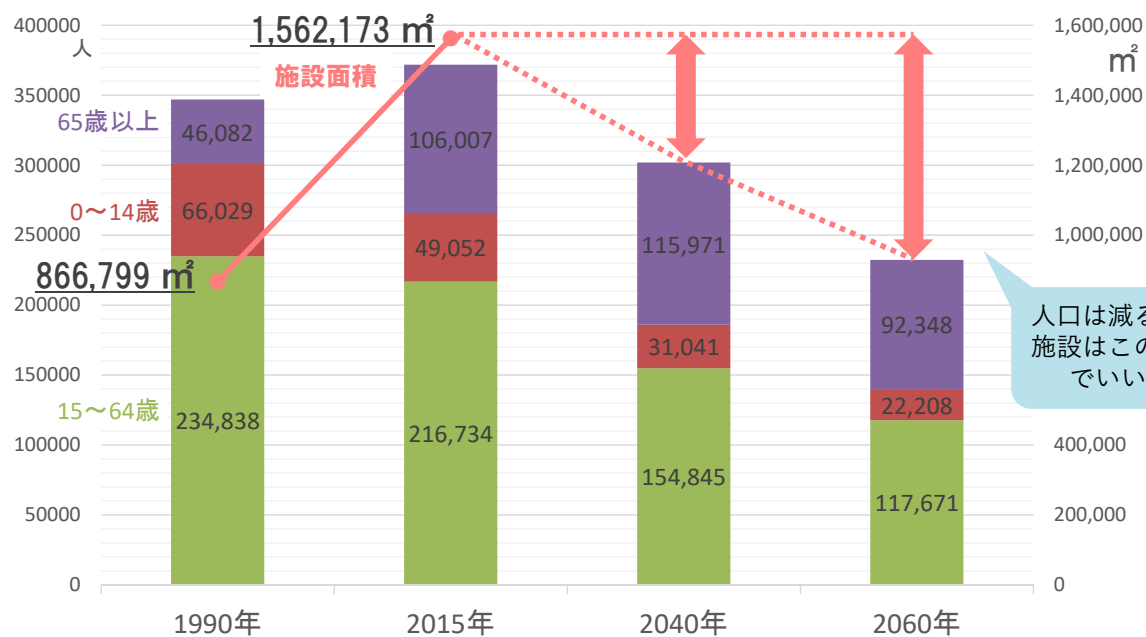


オリンピック開催時に建てられた施設も  
改修が必要な時期を迎える

# ✓ 人口減少・少子高齢化が進んできている



# ✓ 人口減少なのに施設は多いまま



人口は減るけど施設はこのままでいい？

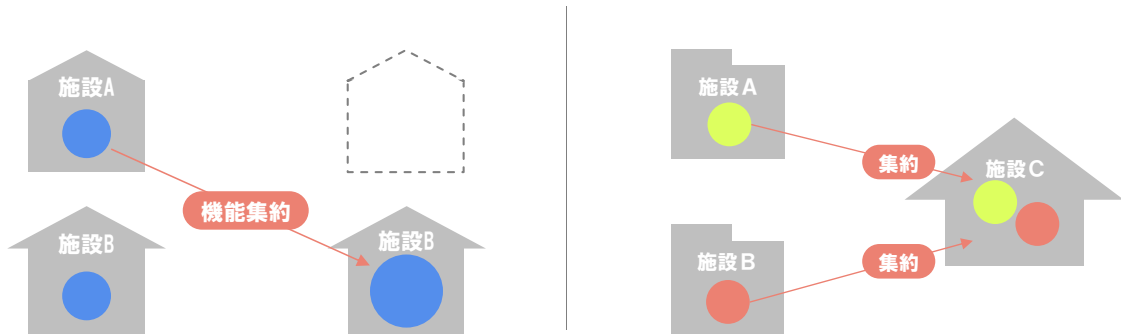
施設を作ってきた、使ってきた、  
私たちが“今”見直すことが大切

## 公共施設のかしこい見直し方とは？



# 公共施設のかしこい見直し方

## 集約化する・複合化する



複合化・集約化すると、いろいろなメリットが...

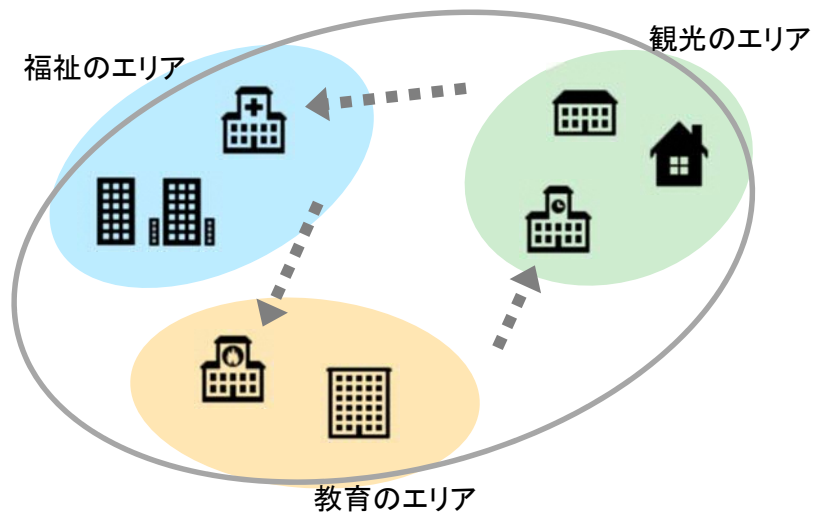
「人が集まることによる活性化」「移動時間短縮」

「多世代交流」「人員配置の効率化」

「共用部分の削減（エントランス、廊下、トイレ）」などなど

# 公共施設のかしこい見直し方

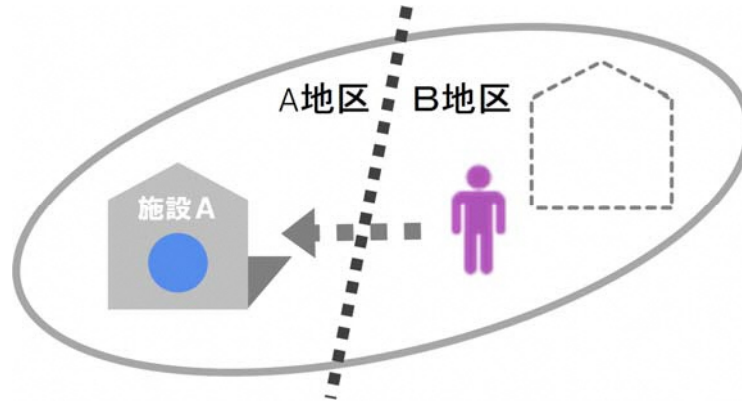
## エリアで分ける



エリアで分けると集約化がはかりやすい。

# 公共施設のかしこい見直し方

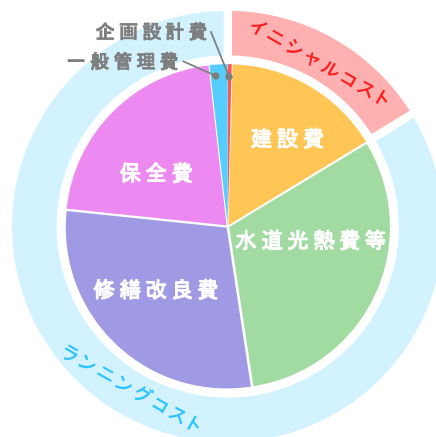
## 地区の外に目を向ける



他地区に使える施設があれば、積極的に活用する

# 公共施設のかしこい見直し方

## 将来まで残す施設を考える



建物を将来まで維持するコストは、  
(ランニングコスト)  
建物を建てる際のコストの、  
(イニシャルコスト)  
5～6倍といわれています。

将来まで残す施設のコストは、将来の市民が負担します。  
→将来まで残していく施設はどれですか？